



♪ スタッフインタビュー ♪

氏 名：小松 ひとみ
勤 務 地：母子生活支援施設
職 種：寮長
採用年月日：昭和57年6月15日

Q：鹿児島県社会福祉事業団で働こうと思った理由、きっかけは？

高校の職場体験において、幼稚園時お世話になった教諭が保育園を経営されており、何気ない気持ちが園児との触れあいや保育士の笑顔に惹かれ、保育士を目指すきっかけとなりました。しかし、短大の施設実習で児童養護施設を希望し実習した際、保育園や幼稚園とは違う子ども達の様子、保育士や指導員の子ども達との関わり方など、今までと違う経験をしたことで、自分はどの道を選択すべきか悩んだとき、保育園でも児童養護施設でも働ける当事業団を知り、入職しました。

Q：現在の仕事のやりがいを教えてください。

現在の職場は、社会的養護を担う児童福祉施設として、唯一おかあさんと子どもがともに生活しながら、支援を受けることができる施設です。入所時様々な問題を抱えた母子が、今後どのように生活すべきか不安な状況に「安心して生活できるよ」と、まずは安心して生活できる場として提供できた時、その後母子との関わりの中で一つひとつ解決していきながら、前向きに気持ちを切り替えられ、最終的には自立に向けた目標をもてるようになった時、また、自立して退所した母子が施設の行事等に参加し、頑張っている姿を確認できた時、安心感とともにやりがいを感じています。

Q：仕事をするうえで心がけていることは何ですか？

利用者が気軽に話しやすいよう相談しやすいよう、笑顔で対応する努力を怠らないこと、また、利用者一人ひとりの思いに寄り添った支援は一人ではできないので、担当者は決まってもチームとして、利用者一人ひとりへ支援できるよう、職員一人ひとりが仕事しやすい風通しのよい職場の環境、雰囲気作りを常に心がけています。

Q：将来の目標を教えてください。

当事業団の基本理念である「一人ひとりのおもいを大切にします」「みなに笑顔を届けます」「地域のくらしを守ります」を念頭に日々精進しながら、自分の経験をもとに後輩職員へ伝えていけたらと思います。

Q：当事業団に就職を希望されている方へメッセージを！！

当事業団は、子どもからお年寄りまで、また障害者（児）、女性、母子と多種多様の施設があります。私自身保育園で入職し、その後、児童養護施設、障害者支援施設、母子生活支援施設と異動してきましたが、職員だけではなく利用者とのいろんな出会いがあり、幅広い分野で専門的に学びながら資格取得を目指せるなど、違った自分を見いだせ、スキルアップできる職場です。

自分の持っている力を発揮できる職場として、是非私たち職員と一緒に新たな福祉を目指してみませんか。

